

事務事業名		市民文化会館運営事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略登載事業				
政策体系	政策名	03 豊かな心を育む人づくりの推進		事業期間		予算科目				
	施策名	14 生涯学習の推進				会計	款	項	目	事業
	基本事業名	01 学習環境の充実				01	02	01	10	03
根拠法令				<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 20 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		事務事業区分				
所属	部課名	企画政策部 市民文化会館				A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～D以外)				
	課長名	千葉 博世								
	係名	総務係	電話						0192-26-4478	
	担当者	田代 昌幸	内線							
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)						
具体的な業務は以下のとおり。 ○施設・設備の保守点検業務委託(入札(見積徴収)、契約、業務確認、支払手続) ○施設・設備の補修(要修箇所箇所の把握、解決方法の検討、入札(見積徴収)、契約、業務確認、支払手続) ○施設・設備の改善(要改善箇所の把握、解決方法の検討、入札(見積徴収)、契約、業務確認、支払手続) ○施設・設備の取扱いに関する職員の技能・危機対応能力の向上(マニュアル作成、操作技術研修、防災・避難訓練等)				総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金			
								都道府県支出金		
								地方債		
								その他		
								一般財源		
								事業費計(A)	0	
				人件費	正規職員従事人数					
					延べ業務時間					
					人件費計(B)	0				
				トータルコスト(A)+(B)		0				

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標									
① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
前年度実績(前年度に行った主な活動)	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 施設・設備維持管理分保守点検業務件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	ア 施設・設備維持管理分保守点検業務件数	件	イ		ウ	
名称	単位								
ア 施設・設備維持管理分保守点検業務件数	件								
イ									
ウ									
○施設・設備の保守点検業務委託 ○施設・設備の改善 ○職員の知識、技能、危機対応能力の向上。									
今年度計画(今年度に計画している主な活動)									
○施設・設備の保守点検業務委託 ○施設・設備の改善 ○職員の知識、技能、危機対応能力の向上									
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)								
○市民文化会館の利用者 ○市民文化会館施設	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>カ 年間入館者数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>キ 市民文化会館延べ床面積</td> <td>m²</td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	カ 年間入館者数	人	キ 市民文化会館延べ床面積	m ²	ク	
名称	単位								
カ 年間入館者数	人								
キ 市民文化会館延べ床面積	m ²								
ク									
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)								
施設・設備をいつでも安全かつ快適に利用できる。	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>サ 施設・設備に関する市民提言件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>シ 市民提言で改善された件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>ス 施設・設備の改善(業務委託発注)件数</td> <td>件</td> </tr> </table>	名称	単位	サ 施設・設備に関する市民提言件数	件	シ 市民提言で改善された件数	件	ス 施設・設備の改善(業務委託発注)件数	件
名称	単位								
サ 施設・設備に関する市民提言件数	件								
シ 市民提言で改善された件数	件								
ス 施設・設備の改善(業務委託発注)件数	件								
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)									
文化、芸術活動を行ってもらう。									

(2) 総事業費・指標等の推移																																																																																																																																																																																													
	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="7">年度</th> </tr> <tr> <th>27年度(実績)</th> <th>28年度(実績)</th> <th>29年度(実績)</th> <th>30年度(目標)</th> <th>31年度(目標)</th> <th>32年度(目標)</th> </tr> <tr> <td rowspan="6">投入量</td> <td>事業費</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>財源内訳</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>国庫支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>千円</td> <td>54,480</td> <td>54,230</td> <td>62,592</td> <td>60,000</td> <td>65,000</td> <td>65,000</td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td>千円</td> <td>71,218</td> <td>72,122</td> <td>77,724</td> <td>77,000</td> <td>83,000</td> <td>83,000</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>正規職員従事人数</td> <td>人</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td>時間</td> <td>5,400</td> <td>5,400</td> <td>5,400</td> <td>5,400</td> <td>5,400</td> <td>5,400</td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>千円</td> <td>21,600</td> <td>21,600</td> <td>21,600</td> <td>21,600</td> <td>21,600</td> <td>21,600</td> </tr> <tr> <td>トータルコスト(A)+(B)</td> <td>千円</td> <td>92,818</td> <td>93,722</td> <td>99,324</td> <td>98,600</td> <td>104,600</td> <td>104,600</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑤活動指標</td> <td>ア</td> <td>件</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>22</td> <td>21</td> <td>21</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑥対象指標</td> <td>カ</td> <td>人</td> <td>117,340</td> <td>121,730</td> <td>108,156</td> <td>120,000</td> <td>120,000</td> <td>120,000</td> </tr> <tr> <td>キ</td> <td>m²</td> <td>7,875</td> <td>7,875</td> <td>7,875</td> <td>7,875</td> <td>7,875</td> <td>7,875</td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">⑦成果指標</td> <td>サ</td> <td>件</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>シ</td> <td>件</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td>件</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </table>	単位	年度							27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(目標)	31年度(目標)	32年度(目標)	投入量	事業費							財源内訳							国庫支出金	千円						都道府県支出金	千円						地方債	千円						その他	千円						一般財源	千円	54,480	54,230	62,592	60,000	65,000	65,000	事業費計(A)	千円	71,218	72,122	77,724	77,000	83,000	83,000	人件費								正規職員従事人数	人	3	3	3	3	3	3	延べ業務時間	時間	5,400	5,400	5,400	5,400	5,400	5,400	人件費計(B)	千円	21,600	21,600	21,600	21,600	21,600	21,600	トータルコスト(A)+(B)	千円	92,818	93,722	99,324	98,600	104,600	104,600	⑤活動指標	ア	件	20	20	22	21	21	21	イ								ウ								⑥対象指標	カ	人	117,340	121,730	108,156	120,000	120,000	120,000	キ	m ²	7,875	7,875	7,875	7,875	7,875	7,875	ク								⑦成果指標	サ	件	1	4	3	4	4	4	シ	件	0	1	0	2	2	2	ス	件	0	0	0	1	1	1
単位	年度																																																																																																																																																																																												
	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(目標)	31年度(目標)	32年度(目標)																																																																																																																																																																																							
投入量	事業費																																																																																																																																																																																												
	財源内訳																																																																																																																																																																																												
	国庫支出金	千円																																																																																																																																																																																											
	都道府県支出金	千円																																																																																																																																																																																											
	地方債	千円																																																																																																																																																																																											
	その他	千円																																																																																																																																																																																											
一般財源	千円	54,480	54,230	62,592	60,000	65,000	65,000																																																																																																																																																																																						
事業費計(A)	千円	71,218	72,122	77,724	77,000	83,000	83,000																																																																																																																																																																																						
人件費																																																																																																																																																																																													
正規職員従事人数	人	3	3	3	3	3	3																																																																																																																																																																																						
延べ業務時間	時間	5,400	5,400	5,400	5,400	5,400	5,400																																																																																																																																																																																						
人件費計(B)	千円	21,600	21,600	21,600	21,600	21,600	21,600																																																																																																																																																																																						
トータルコスト(A)+(B)	千円	92,818	93,722	99,324	98,600	104,600	104,600																																																																																																																																																																																						
⑤活動指標	ア	件	20	20	22	21	21	21																																																																																																																																																																																					
	イ																																																																																																																																																																																												
	ウ																																																																																																																																																																																												
⑥対象指標	カ	人	117,340	121,730	108,156	120,000	120,000	120,000																																																																																																																																																																																					
	キ	m ²	7,875	7,875	7,875	7,875	7,875	7,875																																																																																																																																																																																					
	ク																																																																																																																																																																																												
⑦成果指標	サ	件	1	4	3	4	4	4																																																																																																																																																																																					
	シ	件	0	1	0	2	2	2																																																																																																																																																																																					
	ス	件	0	0	0	1	1	1																																																																																																																																																																																					

事務事業ID	1332	事務事業名	市民文化会館運営事業
--------	------	-------	------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	市民文化会館が地域文化創造の拠点として、平成20年11月15日に市立図書館との複合施設として開館した。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	市民文化会館は、当面市が直営で管理運営していくことにしているが、市公共施設等総合管理計画の策定により、公共施設の適正管理が求められている。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	施設の安全性や使いやすさが求められている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつかないか？意図することが結果に結びついているか？	市民文化会館の施設・設備を適切に維持管理することは、生涯学習の推進及び学習環境の充実につながるものであり、政策体系に結びつく。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	公立文化施設であり、特定の人を対象にした施設ではないので、公共関与の妥当性がある。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	利用者が常に安全かつ快適に利用できる環境を維持することは、対象・意図とも妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	苦情等によって明らかになった改善箇所等を適切に処理したり、職員個々の研修等を重ねることで、成果を向上させる余地がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	市民文化会館の施設・設備が適切に維持管理されないことになり、会館の設置目的が達成されない。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	コスト削減策としては、分野の異なる複数の保守点検業務を一括して委託することによる経費削減が考えられる。ただし、開館から10年経過し、施設、設備の改修、更新も必要となってくることから、今後はコスト削減以上に事業費が多額となってくることから、削減することは難しい。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	人件費削減策としては、分野の異なる複数の保守点検業務を一括して委託することによる契約事務の簡略化が考えられる。また、保守点検等施設管理業務の多くは委託によって管理しているが、貸館等施設利用に係る受付管理対応を委託する余地はある。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	施設・設備は、使用頻度に比例して消耗・劣化するが、利用者が使用料を支払うことで受益と負担の公平性が確保されている。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性		(2) 改革・改善による期待成果																						
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) → ③ 終了・廃止・休止		左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 施設・設備のきめ細かい維持管理及び改善を積み重ねることにより、来館者の利便性の向上と運営経費の節減が期待されるが、施設改善に関する市民提言等には、改善が不可能なものがあり、対応できかねることがある。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		●																					
	維持			×																				
	低下		×	×																				

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	施設・設備を適切に維持管理することは、芸術文化の振興はもとより、生涯学習の推進、さらには市民交流の促進につながる。施設、設備等に経年劣化が見受けられることから、早期発見に努め修理、交換等を行うとともに、長期の維持修繕の計画を作成し管理運営していく。